

1

あとの問いにそれぞれ答えなさい。

(1) 次の①～⑤の——線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 土砂がくずれる。                      ② 初々しい新生者がきた。
- ③ 技を会得する。                        ④ 角が取れてやさしくなる。
- ⑤ たのしさを極める。

(2) 次の①～⑤の——線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 山のイタダキに登る。                      ② 室内で大きな犬を力っている。
- ③ 先生のごコウイにあまえる。                      ④ 合唱のシキをする。
- ⑤ ガスなどのキタイ燃料を使用する。

(3) 次の①・②各組の漢字の□に共通している部首名を、ひらがなで答えなさい。また、その部首の意味を、あとの

ア～エから選び、記号で答えなさい。

① □土・□兄・□且

② 干□・歹□・半□

意味

ア おか、もり土したもののこと                      イ かたなのこと  
ウ 布、布でつくったもののこと                      エ 神をまつること

(4) 例文の——線①「れる(られる)」・②「の」と同じ意味・使い方のものをあとのア・エから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 「ねここにひつかかれる。」

ア 先生にほめられる。

イ 母の態度はたのもしく感じられる。

ウ 10分あれば駅まで行かれる。

エ 先生が話されることを守ろう。

② 「声のした方を見る。」

ア この本は私のです。

イ 星のきれいな夜空だ。

ウ アルミかんの上にみかんを置く。

エ 行くの行かないのとはつきりしないことだ。

(5) 次の①～③の敬語表現で適切なものはどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。

① お客様、その件については窓口で

ア お聞きになって  
イ うかがって  
【 ください。】

② お客様、温かいうちに

ア いただいて  
イ めし上がって  
【 ください。】

③ お客様、遠りよせずに

ア 申し上げて  
イ おっしゃって  
【 ください。】

(6) 次の①～③の□にあてはまる漢字を、下の( ) から選び、四字熟語を完成させなさい。また、その四字熟語の意味を、あとのア～オ から選び、記号で答えなさい。

① 馬 □ 東風 (治・自・持・耳・事)

② □ 刀直入 (短・単・誕・担・探)

③ 無我 □ 中 (六・無・武・夢・務)

意味

ア この上なく大切にして従わなければならないこと  
イ 心をうばわれ、ひたすら物事に打ちこむこと  
ウ 人の意見・批評を心に留めず、聞き流すこと  
エ 遠まわしでなく、すぐに本題に入ること  
オ 思いを語らなくてもおたがいに心が通じ合うこと

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(字数については、「、」や「。」も一字に数えます。)

\*シルル紀の中ごろ、植物が上陸に成功しましたが、それ以前の地上はどんな景観だったでしょうか。

土を生む術すべを持っていなかった山々はゴツゴツした岩石が露出あらわし、山のすそ野には巨岩きよが転がり、水辺には豪雨ごううによる洪水で流されてきたレキや砂がうず高く積もった、黒灰色の荒涼こうりやうとした不毛の大地だったに違いありません。

そこへ、水際から緑の進入が始まりました。葉緑素（光を吸収する緑色の色素）を持った植物が上陸を始めたのです。繰り返すようですが、地上にはこのころ全く有機①（生命に関係するもの） エネルギーはありませんでした。この命なき不毛の陸地で生きるための第一条件は、太陽エネルギーを使い、光合成（植物が光を利用し、二酸化炭素と水からデンプンなどを作ること） によって、自分で、自分が生きるためのエネルギーを確保することです。そのため、葉緑素は絶対必要な携帯品けいだったのです。

いま一つ大切なことがありました。それはこれらの植物が安心して光合成ができる環境かんです。言い換えると、岩やレキや砂でなく、安心して根の張れる土が必要だったのです。植物の根と岩石との間で土づくりという、まさに根気のいる地上最大の環境づくりの戦いが始まりました。

そして、今から約三億数千万年前、現在の土の原型が完成するとともに、遂に地球は緑に覆われた石炭紀に入ります。コケや藻類そうから進化したシダ、ヒカゲノカズラ、トクサそしてソテツの仲間が主役となり、地上を緑で覆いました。植物は植物で現在の根を形態的に完成し、1 驚くことに、この形態は現在も持ち続けているのです。

2、「地上に最初に上陸した生物は何か」については、いろいろと異論があると思います。バクテリアだ、プランクトンだ、いや、現在、化石として残っている古マツバラ3 類の植物だ、などなど。地上で、独力で生活するためには、葉緑素を体内にもった植物でなくては生きていけなかったということだけは確かです。

④ 緑色植物が最初に上陸した点については間違いないでしょう。

そしてすぐに、この植物の生体や遺体を食べる微生物や、エラを気管に進化させた昆虫の先祖が上陸してきました。さらに、これらを食べる、エラを肺に進化させた両生類が上陸してきます。こうして、地上に食物連鎖きんによる生態系ができあがっていきました。⑤ このとき、あるものは湿りと温度を保ってくれる土の中に潜り込みました。

最初の生物の上陸から数千万年後の石炭紀に、背丈何十メートルの巨木が地上で栄えます。このことは、地上部を支える根の形態がほぼ完全にできていたということであり、さらに大切なことは、根を支え、根に十分な養分を与えられる土が形態的に完成していたということです。

それは地上の歴史を画する（はつきりと、ぐ）（ぎりをつける） 重大な出来事でした。ただ単に、緑色植物によって地上が覆われたというだけでなく、有機物を含み、空気や水を保持するすき間のある土が基本的に完成したということであり、このことがあったからこそ、今日の地上の生態系ができあがったと言えるのです。（中略）

⑥ 今地球の土はいろんな危機にさらされています。その一つが砂漠化です。

地球の全表面積は五一〇億ヘクタール、そして、その約三〇％に当たる一四八億ヘクタールが陸地です。そして陸地の三〇％は雨の少ない乾燥地帯です。ここに八億五千万もの人々が住んでいます。今、ここで砂漠化が毎日、毎日進んでいるのです。

とくにアジア、アフリカ、南アメリカの乾燥地帯では、この砂漠化が、破局的に進行しています。

砂漠化していく面積は、年間五〇〇万ヘクタールといわれ、わが国の全耕地面積に匹敵します。サハラ砂漠の南では、毎年、一五〇万ヘクタールもの土地が砂漠になっています。これは、毎秒四・八アール（一四四坪）の命ある土が、命なき不毛の土になっていることを意味します。

⑦ 砂漠化の原因として、これらの地域に雨が少ないということは確かに重大なことです。しかし、それ以上に問題なのは、自然の条件を無視した科学過信の思ひ上がり農業が塩類集積＝砂漠化をすすめていることです。また、明日がない現在の、この瞬間の飢えが、砂漠に生きるわずかな植物をも食い尽くしてしまうという厳しくも悲しい現実があります。土の発生と進化の最終産物としてこの土の上で栄えるホモサピエンス（現在の人類のこと）の、英知が試される場がここにもあります。

（松尾嘉郎・奥蘭壽子「地球環境を土から見ると」より。一部表記を改めたところがあります。）

\* シルル紀：約四億四千万年から四億一千万年前までの時代

石炭紀……約三億六千万年から二億九千万年までの時代

レキ……小さい石

食物連鎖…食べられる生物と食べる生物がつながりあった一連の関係

問1

|   |
|---|
| 1 |
|---|

5

|   |
|---|
| 3 |
|---|

にあてはまるものを次から選び、記号で答えなさい

ア　しかし  
イ　または  
ウ　さて  
エ　つまり  
オ　しかも

問2 線①「有機エネルギー」を別の表現で何といっていますか。文中から3字以内でぬき出しなさい

問3 — 線②「大切なこと」とありますが、どんなことですか。わかりやすくまとめなさい

問4 ——— 線③「緑に覆われた石炭紀」とありますが、それ以前の地上は、どのようなでしたか。具体的にかかっている部分を71字で、「景観」に続くかたちでぬき出し、はじめとおわりの5字を答えなさい。

問5 ———線④「緑色植物からく間違いない」とありますが、そう言える理由を次のようにまとめました。 ———線アく

ウの□にあてはまることばを、□を一字として、文中からぬき出しなさい。

☐ <sup>ア</sup> ☐ ☐ ☐ のない地上では、自分で、自分が生きるための ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ <sup>イ</sup> を確保する必要があり、それができるのは ☐ ☐ ☐ <sup>ウ</sup> ☐ ☐ ☐ を持った植物だから。

問6 — 線⑤ 「このとき」 のさすものを答えなさい。

問7 線⑥「今地球の土はいろんな危機にさらされています」とありますが、「土」の危機につながる環境問題にはどんなものがありますか。あなたの知っているものを一つ、簡単に答えなさい。

問8——線⑦「砂漠化の原因」として、本文中にあげられているものには○、その他には×をつけなさい。

ア 雨が少ない乾燥地帯で、自然条件を無視した科学過信の農業をはじめたこと  
イ 人口の増加と近代的な工業化により、少ない水を大量に消費してしまうこと  
ウ 熱帯雨林の減少と小さな木まで燃料用に切ってしまうことで、土が死んでしまったこと  
エ 増える家ちくが、飢えのためにわずかな植物までも食べつくしてしまうこと

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(字数については、「、」や「。」も一字に数えます。)

「原君、ほおの傷はどうしたの。猫にでもひつかかれたのかな」

先生は又三郎に聞いた。

「ううん、お母さんにひつかかれたの」

先生は「へえ、またなぜ」と言ってから「ヒミツだったら今こで言わなくてもいいけど」と言った。

「あのね」と又三郎は元氣よく説明した。「きのうテレビを見ていて、あんなマンションに住みてえな。ジュータンはふかだし、台所はピカピカだし」って僕が言ったら、へちゃんと毎日ご飯をつくってる台所はあんなにピカピカのはずない」ってお母さんが言ったの。それで僕は、わざとふざけてなんだけど、へあのお母さんも若くてキレイでいいよなあ」って言うたら、へいつしようにけんめい子供を育ててるお母さんが、あんなに取りすましてキレイでいられるはずない」ってムキになったの。そしてテレビ消しちゃって、へ家をよく見てごらん。お母さんをよく見てごらん。お前はここの家で元氣よく育てるんだよ」って言うの。へ何もテレビ消すことないだろう」って僕が言ってケンカになっちゃったの。お母さんがとびかかってきたから、足をつかんだら、身動きできないもんだから、僕のほったつつかんだの。その時つめが伸びてたもんだから、ひつかかれちゃった。本気でやるんだもん」

「すげえ」と教室のうしろの方から声があがった。又三郎は席から立ち上がって振り向き、声のした方へVサインを出して言った。

「僕もお母さんの眼玉えぐっちゃったもんね」

教室の中がわいた。「ええ、本当に眼玉えぐったの」という女の子の声。「デスマッチ」「どっちが勝った」という男の

子の声。

「そういう時、お父さんやお兄ちゃんたちはどうしてるの」

先生が聞いた。

③ 笑ってんの。みんな順番でやられたんだって。三番目の高校生のお兄ちゃんがこう言った。へお前なあ、キレイな家に住もうと思ったら、子供は二人か三人だぜ。お前なんか産んでもらえなかったんだぞ。生まれてなかったら、キレイな家に住みたいって文句も言えないんだからあきらめろ」って

④ いいお母さんやお兄ちゃんねえ」

先生が言った。その声はもう涙ぐんでいるようだった。⑤ 生徒たちは先生の顔を見た。

「今日はプール開きまで、勉強するのやめて話をしようか」

先生が言うと、生徒たちから拍手が起こった。先生は教卓にすわったまま、皆の顔を見回しながら話し始めた。

「先生は、そういうお母さんや兄弟が欲しかったな。先生はね、児童ホームっていうところで育ったの。孤児院で知ってるかな、このごろあまり聞かないけど。先生が生まれた昭和十八年という年は、日本が戦争をしていたんだね。みんなのお父さんやお母さんも、そのころ生まれた人が多いのよ。先生のお父さんは、まだ私がお母さんのお腹の中にいて、生まれていない時に戦争に行つて、ビルマというところで死んだの。おなかの中にいる子に、名前だけつけて行つたんですって。男の子が欲しかったらしいのね。だから先生の名は男の子みたいな厚い名前なの。心が厚いようにって」

「こころがあついて、どういうの」男の子の声が言った。

「あつたかいってことじゃないの」女の子の声が言った。

「それもあるみたいね」先生が言った。「いろんな意味があるみたい。言葉じゃ説明しにくいんだけど。人にやさしいとか、

礼儀正しいとか、深くものごとを考えると。先生はお父さんの顔も知らないから、もらった名前の意味を考えて生きることでね、お父さんと会っているような気がするの」

「お母さんはどうしたんですか」女の子の一人が聞いた。

「お母さんは私が四つの時に病気で死にました。先生が二つの時に戦争が終わって、日本は負けたから、いい薬も、栄養をとれる食べ物もなかったの。それで先生は、お父さんもお母さんもない子供たちの施設に引き取られたの。⑧そのころはそういう子がたくさんいたのね。先生がいた児童ホームは教会付属の女の子ばかりの寮でね、一つの部屋に四人ずつ入ってるんだけど、ドアの上にはマリア様の絵が掛かっていた。黒いベールをかぶった尼さんとか、見習い修道女のこと、シスターっていうんだけど、英語で女のきょうだいのこと。本当にそういう人たちが、お母さんやお姉さんのかわりになって子供たちを育ててくれたの。同じ部屋に入った子供たちは、みんな仲がよかった」

⑨子供たちの眼がいつせいに見つめていた。

『先生の児童ホームは東京の杉並区にあつたんだけど、先生が中学生の時、そのホームに九州の子が大勢入ってきたの。その中のユウ子ちゃんという子が先生と同じ部屋になって、学校でも同じクラスで、とても仲よしになった。その子はお父さんもお母さんもない、たまに面会に来ていたから、なんだかうらやましかった。九州から来た子供たちは、みんな炭鉱で働いていた一家の子供たちだったのね。もう石炭を掘らなくなって、炭鉱が不景気になって、家族がバラバラになって働いていたのね。ユウ子ちゃんには弟や妹がたくさんいたから、中学校を卒業したら働くためにホームを出ました。今はどこにいるのかわからない。先生は一人ぼっちのかわりに、自分だけが生きればよかったから、その児童ホームの先生から推薦されて、学費を出してもらって大学を出られたのよ。ユウ子ちゃんにとっては、私の方をうらやましいと思ったかもしれない。⑩人が人のことをうらやましいがるというのは、お互いさまなのかも知れないね。それぞれのところで一生懸命生きるしかない』

「いみたい。先生はそう思った」

先生は又三郎を見た。

「だからさ、



の台所やお母さんより、



の家、



の家族を見なさいっていうお母さんは、とつてもステキだよ」

先生は子供たちを見まわした。

(干刈あがた「ゆつくり東京女子マラソン」より。一部表記を改めたところがあります。)

問1 ——— 線①「家をよく見てごらん。お母さんをよく見てごらん」とありますが、この時の母親の気持ちとしてふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 又三郎が元氣よく生活しているのだから、見かけのキレイさなど意味のないことだと思う気持ち  
イ 又三郎が元氣よく生活をするから、外見や部屋をキレイにできないのだと腹立たしく思う気持ち  
ウ 見かけはキレイでなくても、そこには実際の生活があるのだということに気づいてほしい気持ち  
エ 見かけはキレイでなくても、本当の美は目には見えないのだということに気づいてほしい気持ち

問2 ——— 線②「その時」・⑧「そのころ」がさしている内容を、それぞれ答えなさい。

問3 ——— 線③「笑つてんの」とありますが、このときのお父さんやお兄ちゃんたちの気持ちとしてふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 小学生相手に本気でけんかしているお母さんをバカにしている気持ち  
イ 又三郎の言うことは当然なので、反こうしてけんかしているのをゆ快に思っている気持ち  
ウ 又三郎の気持ちは分からなくもないが、説明しても小学生には理解できないだろうという気持ち  
エ 小学生でも本気で相手をしているお母さんと、元気で子供らしい又三郎を見守る気持ち

問4 線④「いいお母さんやお兄ちゃんねえ」とありますが、先生がそう思った理由を次のようにまとめました。  
 □にあてはまる語句を、後半の『』から20字でぬき出さない。

人は  ということを実行し、そのことを又三郎に本気で分からせようとしているから

問5 ———線⑤「生徒たちは先生の顔を見た」時と、————線⑨「子供たちの眼がいつせいに見つめていた」時の生徒・子供たちの気持ちを、それぞれのちがいが分かるように説明しなさい。

問6 ———線⑥は「女の子の『声』」、————線⑦は「女の子の『一人』」となつています。「声」と「一人」という表現のちがいについて説明した次のア～エから最もふさわしいと思うものを選び、記号で答えなさい。

ア 声が大きく印象的な発言には「声」として強調し、そうでないものは「人」としている。

イ 発言した生徒がだれか分かっている場合は「人」、分からない場合は「声」としている。

ウ 男の子と女の子がいるので、どちらの発言か明確にするため「声」と「人」を使い分けている。

エ 教室の中みんなの気持ちを代表した時は「声」、個人的な発言の時は「人」と使い分けている。

問7 ― 線⑩「人が人のことをうらやましがるというのは、お互いさまなのかも知れないね」とありますが、「お互いさま」の説明としてふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア お互い人の立場は分らないのだから、人のことがうらやましくなるのはもつともだ。  
イ お互い自分の生活があるのだから、人のことをうらやましがつてはいけない。  
ウ お互いに同じような生活なのだから、人のことをうらやましがる必要はない。  
エ お互いの立場はそう変わらないのだから、人のことがうらやましくなつても仕方がない。

問8

|   |   |   |
|---|---|---|
| 1 | ・ | 2 |
|---|---|---|

にあてはまることを、

|   |
|---|
| 1 |
|---|

は3字、

|   |
|---|
| 2 |
|---|

は2字で答えなさい。